

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 令和3年度 岐阜県立関有知高等学校 第3回学校運営協議会
- 2 開催日時 令和4年2月2日（水）資料発送
- 3 開催方法 書面開催
- 4 参加者

| | | |
|-------|--------|-----------------------|
| 会 長 | 丹羽 章 | 各務原市教育委員会 |
| 副会長 | 平田 昌隆 | 下有知中学校 校長 |
| 委 員 | 田中 雄貴 | 関青年会議所 理事長 |
| | 平田 尚 | しもうちふれあいまちづくり協議会 |
| | 山田 あつ子 | 特別養護老人ホーム ハートフル 施設長 |
| | 木村 有希 | 下有知保育園（主任保育士） |
| | 北村 隆幸 | せき・まちづくりNPOぶうめらん 代表理事 |
| | 杉戸 美月 | 関市役所市民協働課 書記 |
| | 佐藤 豊 | 関有知高等学校PTA会長 |
| 学 校 側 | | |
| | 谷口 正明 | 校 長 |
| | 堀 卓也 | 教 頭 |
| | 中薮 淳 | 事 務 長 |
| | 大野 広行 | 総務部長 |
| | 名和 憲一 | 教務主任 |
| | 福山 美苗 | 生徒指導部長 |
| | 原 和幸 | 進路指導部長 |
| | 水阪 文恵 | 生活福祉科主任 |
| | 辻 祥平 | 特活係長 |
| | 横山 玄斗 | 記 録 |

- 5 会議の概要
 - ・令和3年度 of 取組の成果と課題について
 - ・令和4年度に向けて

6 委員からの意見

【総務部】

意見1：「関有知ジモト大学」は、この地区で生活している生徒にとって、本当に素晴らしい取組である。だと思う。生徒はもちろん、講師も学校の教育を理解していただき、今後ずっと応援してくれる存在になるとよい。

意見2：もっとHPなどのWebを活用することで、「開かれた学校」に近づくのではないかと。「関有知ジモト大学」や「読書指導」など、他にも多く共感の持てる良い教育活動をしているにも関わらず、開催報告のみではもったいない。こんな取組をしている学校だと、具体的に出すことで、保護者や地域の方の適正な評価につながっていく。

意見3：「関有知ジモト大学」は、スクール・ポリシー実現に向けた主要な取組の一つになった。1学年で学んだことを2学年、3学年へと発展させていく取組として、関有知まちなか文化祭の

開催に期待する。

意見4：「関有知ジモト大学」は、講師の方々も大変楽しんでできたので有難かった。

意見5：「関有知ジモト大学」はとても楽しそうな内容で、生徒たちも興味を持って意欲的に参加できたことが伝わってきた。地元や様々な職業を知り、スクール・ポリシーにある「よき地域社会人」を目指すことにつながっていくのではないかと感じた。

意見6：自分自身も「関有知ジモト大学」に講師として関わらせてもらった。授業の中で関市で活動する方からいろいろなことを学べる機会があるということは素晴らしい。初めての試みということで調整等大変な面もあったかと思うが、コロナ禍でも何とか実現してもらえたことを感謝している。

意見7：「関有知ジモト大学」は、今後も継続してほしい。とても期待できるよい取り組みだと思う。

【教務部】

意見1：情報機器の教職員の活用については、小中学校としても課題として残るところである。誰もが活用できるようにするためには、「まず使ってみる」、「様々な活用の仕方にチャレンジする」ことが重要だと考える。「苦手」「わからない」「どうにかなる」という教職員の意識をなくし、指導のために必須のツールとしてやるしかないという気持ちで取り組めるとよい。

意見2：コロナ禍により押し進められたICT機器の導入と活用だが、収束後も戻ることなくさらに積極的な活用を進めてほしい。

意見3：ICTが上手く活かされている。進学するにしても就職するにしても、これから必要になる分野を高度に体験できている。特にコロナ禍により活動が制限される中で、楽しみを感じながら新鮮な取組ができていないのか。

意見4：コロナ感染防止対策は、職員にとって際限のない壁であるように思われる。生徒にとっては、慣れない対応が増えて学習に集中できないこともあると思う。そうした中でも目標を見失わず、希望を持ち続けられるような学習指導を望む。

意見5：ICT機器を積極的に取り入れることで、コロナ感染防止への対策が十分にされている。その柔軟性や対応力を自分たちが規範としていきたい。

意見6：ICT機器の活用により、先生方の業務量がどのように変化しているか気になる。生徒は1人1台が当たり前になった今、情報モラルを学校で学び、賢く使いこなせるようになるとよい。

【生徒指導】

意見1：「日頃から全職員で粘り強く声掛けを行った」という報告から、生活指導について継続的にこだわりをもって取り組んでいることが分かった。登下校や参観時の生徒の様子は落ち着きもあり、すばらしいと思った。コロナ禍にあって心のケアが本当に必要になってきていると感じる。

意見2：いじめ問題については、件数の問題よりも生じてしまった際にどう迅速に対応し、悪化を防止し、事実関係の究明を行うかが大切だと思う。対応に向けての組織図のようなものがあると保護者の理解や安心、協力につながるのではないかと思う。

意見3：規範意識に関わる指導の成果は確実にあがっていると思う。最近ではモラルやマナーが悪いと思うことはあまりない。ちゃんとした生徒が多くなっていると思う。

意見4：コロナ禍のため、行事が少なく楽しい生活が送れない、友達を作りにくいといったことなどが、登校意欲の低下にもつながっているようだ。2年生はコロナ禍での高校生活しか知らずに間もなく3年目を迎える。閉塞感を無くし、意欲や学びの楽しさに気づくような取組を実施できるとよい。

意見5：心のアンケートやスクールカウンセラーの活用が定着できているのがすばらしい。

意見6：もともと難しい時期の生徒たちだと思うが、コロナの影響で、より難しい心身の状態であると思う。その中で元気に登校できた生徒が多くいたことは、自殺者やうつ病患者が増えてい

るこの世の中で素晴らしいことだと思う。

意見7：コロナ禍の影響で登校意欲が低下してしまう生徒がいることは、難しい課題だと思った。昼食時の黙食の徹底の中、生徒会が工夫して音楽を流すようになったことは素敵だと思う。制限がある中でできることを探して楽しむ力が身に付けられると、社会人になっても環境に言い訳せず仕事に取り組めるようになるのではないかな。

意見8：課題を抱える生徒に対して、早期に情報共有し組織で対応しているのが素晴らしい。コロナ禍で問題は複雑化していると思うが、対処をよろしく願いたい。

【進路指導部】

意見1：自分の将来を決める段階の1つである高校卒業時の進路選択で、様々な情報発信や体験ができるようにしていることがわかった。素晴らしいと感じた。

意見2：コロナ禍のため、昨年私の会社でも中途採用のオンライン面接を行った。その際、相手側のオンライン面接の不慣れに驚いた。今後はマスクをしたままでも相手への共感を伝えられる表情の練習なども必要かもしれない。

意見3：生徒は入学後の早い時期から目標を持つことが必要になる。すでに1年時からの取組が行われているが、さらなる充実が図られることを期待する。

意見4：実際に職場や大学に行ってみたり感じたりできなかったのは残念だが、コロナ感染防止に対応してオンラインで開催できたことは素晴らしい。来年度は実際に体験することができるとよいと思うが、現在の状況を考えると難しいと感じる。

意見5：1年生から様々な働き方について知る機会がある点がよいと思った。「関有知ジモト大学」も始まり、体験を通して関市で働くことのイメージもしやすくなるのではないかな。高校生で将来やりたいことが明確な人は少ないと思う。自分の視野を広げる機会が多くあるとよい。

【家庭教育部】

意見1：高校の指導方針や指導内容を教えていただくことで、小中の学校運営に参考となる場所が多くあった。今後も同じ地区にある学校としてお互いに成長できるようにしていきたい。

意見2：私たちの生活は生活産業なくしては成り立たないといってもよい。しかし、その一方で私たちの生活は多種多様化していて、そんな現代人のニーズを上手に見極めてビジネス化している新しい生活産業の企業が多くある。従来からある産業だけでなく、新しい生活に密着したビジネスで成功している分野や企業について分析や紹介をすることで、関連企業への就職、進学へとつながるのではないかな。

意見3：検定試験への取組が積極的に行われているようで良い。就職にあたって資格保有はとても大きなポイントである。企業が求めるのは、できれば即戦力となれる新入社員だと思う。

意見4：いつもかわいい額面製作をしてもらい、心より感謝申し上げます。子どもたちも絵が変わると「〇〇だー！変わったね。」とすぐに気付いて反応してくれる。いろいろな素材を使ったり、見せ方を工夫したりしていることに、保育士も感心している。

意見5：コロナ禍でも外部講師を招くことができたのは大きかったのではないかな。生活福祉科クラスの80%が就職したということに驚いている。生活産業分野に関連した就職、進学を高めるには、中学生の時点で何がしたいかについて、ある程度意志を持っている必要があり、中学校での進路説明会も重要になる。

【その他】

意見1：アンケートのデータを見ると、去年と比べてほとんどの項目で満足度が上がっている。先生方の努力の成果だと思う。

意見2：それぞれの分掌で、コロナ禍でもできる限り外とのつながりを持った取組をしようとしており、生徒たちは制限がある中でもいろいろな体験ができている。

意見3：全体を通して、各分掌が課題に対して一つ一つ適切に分析し、丁寧に対応している。個々

の生徒を大切にする学校の姿勢がうかがえ、とてもすばらしい。先生たちの努力があってこそ今の状況がある。

7 会議のまとめ

第3回学校運営協議会は「まん延防止等重点措置」の適用という状況を踏まえて、書面開催とした。委員には各分掌の今年度の取組についての成果や課題、そして来年度に向けた方針等についての資料を作成して送付し、意見を集約した。

コロナ禍で当初の予定とは違う対応を求められることも多く、感染拡大防止のための取組は、職員の負担がかなり大きかったが、そうした中でも生徒一人一人を大切にする本校の姿勢に対して、理解と賛同を得た。今後も地域と連携した教育活動を積極的に行い、よき地域社会人の育成に努めたい。